

## 色や目の仕組み

### 実験で「？」解消

高浜で愛教大講座

高浜市のかわら美術館で二十日、光や色について実験する講座「日常生活の「はてな？」があり、市内外から親子十人が受講した。愛知教育大の地域連携講座の一環で、岩山勉教授（五十）が講師を務めた。

岩山教授は赤、緑、青の三原色の光を重ね合わせることで、紫や黄、白色などになることを紹介。参加者たちは、どの原色が混ざっているかが見える「分光シート」を使い、LED（発光ダイオード）の原色を確認した。

教授の「物が立体的に見えるのは目が二つあり、左右で別の情報を入れるから」という説明を受け、参加者は片目では距離感がつかみにくいことを確かめたり、写真や映像が立体的に見える3D眼鏡を使った実験をしたりした。

紫外線に反応して発色するヒースの実験もあり、同市高取小四年の勝連盛悠君（九）は「紫外線を当てると色が変わるのが不思議」と楽しんだ。



3D眼鏡をかける親子ら＝高浜市のかわら美術館で